

【様式】

令和4年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立津高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		「自主・自律」の校訓のもと、高い知性と教養を持ったリーダーが育つ学校
(2)	育みたい 児童生徒像	1 日常において「自主・自律」を実践できる、知・徳・体の調和のとれた生徒 2 主体的に学び、自らを律し、粘り強く努力することで、生涯にわたって自己実現を図るとともに、心豊かで、高い志を抱いて社会に貢献できる生徒
	ありたい 教職員像	1 子どもたちに対する愛情にあふれ、豊かな人間性、人権感覚を備えた教職員 2 目指す学校像の実現に向け、前向きでチャレンジ精神にあふれた組織風土の中で、自らの専門性を高め、「チーム」として協力し合って教育活動に取り組む教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・質が高く、能動的に取り組むことができる授業 ・安全・安心で充実した学校生活と一人ひとりが大切にされる教育活動 ・総合的な学力の伸長と進路希望の実現 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学力と人間力の伸長、進路希望の実現に向けた教育活動の充実 ・安全・安心な学習環境 <p><地域社会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で信頼される「公立進学校」として、将来の社会を支える市民を育成 ・地域の活性化につながる教育活動 	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な学校生活・学習環境 ・子どもの人間的成長と進路希望実現 <p><地域社会></p> <ol style="list-style-type: none"> 小中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の学力および人間力の伸長 ・学習活動における連携・協力 地域社会 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとしての資質や態度の育成 ・地域活動への生徒の積極的な参加 大学、研究機関等 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的研究への理解と興味・関心の喚起 ・人的、物的な教育資源の活用 卒業生（同窓会） <ul style="list-style-type: none"> ・「自主・自律」の伝統の継承 ・同窓会活動における在校生との交流 	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校教育方針への理解と協力 ・相互の信頼に基づく意思疎通 <p><地域社会></p> <ol style="list-style-type: none"> 小中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動における連携・協力 地域社会 <ul style="list-style-type: none"> ・市民性、社会性を育む学習機会の提供 大学、研究機関等 <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な研究活動の機会や場の提供 ・生き方や進路等を考える機会の提供 卒業生（同窓会） <ul style="list-style-type: none"> ・「自校教育」の機会の提供 ・生き方や進路等を考える機会の提供
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>○授業アンケートで、「主体的学習者の育成と確かな学力の向上」において「ほぼ満足」「満足」が9割を超える成果は特筆すべき点である。「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、探究的な学びの推進等への取組結果がうかがえる。</p> <p>○「文化活動の推進」の改善課題、「防災教育」の改善課題を具体的にわかりやすくし、実践に繋げるよう取り組むべきと考える。</p> <p>○図書の子供貸出率が目標値を超えたことは好ましい。図書館を情報センターと位置づけて、データサイエンス教育への対応等、組織的活用を充実していくべきと考える。</p>	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○「自主・自律」の精神を受け継いでいくためにも、生徒の「主体的に学びに向かう力」が高まるよう学校全体で組織的に取り組んでいく必要がある。 ○「深い学び」を実現するために、一人一台端末やICT機器を効果的に活用して教育活動を進めていくことが求められる。 ○新教育課程の実施をふまえ、授業改善や探究活動を核とするカリキュラム・マネジメントについて教科横断的な視点から進捗状況を把握しながら進める必要がある。 ○生徒の資質を多面的、多角的に把握し、人間力の伸長につながる指導ができるよう、研修等を通じて一層の力量の向上に努める必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○本校の教育活動が生徒にとってより魅力あふれるものになり、取り組み内容が中学生や保護者だけでなく県内全体に広く伝わるよう、学校のホームページの改善等を行い、効果的に情報発信をしていく必要がある。 ○一人一台端末やICT機器を授業において効果的に活用できるよう、使用スキル向上のための研修を効率的に取り入れるなど、教職員の負担にならないように進めていく必要がある。 ○生徒の抱えている問題が多様化していることから、保護者だけでなく、多様な外部専門機関と連携をさらに進めるとともに、適切に情報共有を図り、教職員が組織的に対応できるようにする必要がある。 ○スクールサポートスタッフ（SSS）の活用により、時間外労働時間の縮減は一定進んでいるが、会議時間の短縮や定時退校日の設定等により、一層の業務削減に取り組む必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「高い志」「自主・自律の精神」を育成し、学習活動だけでなく、スポーツ活動・文化活動等、あらゆる側面で充実した高校生活を送ることができるよう、生徒一人ひとりの人間力を高める。 2. 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、探究的な学びの推進、ICTを活用した取組等、授業を中心とした教科指導を充実し、確かな学力の向上を図るとともに、入学から卒業まで見通した進路指導を充実することにより、生徒一人ひとりの自己実現・進路実現に取り組む。 3. 他者を思いやる心、生命・人権を尊重する心、政治的教養、倫理観、規範意識などを育む教育の充実に努め、生徒の豊かな人格形成に取り組む。 4. SSH事業を全校体制で推進し、生徒一人ひとりに「探究心」を醸成し、「創造性」「協働性」「課題解決能力」を育み、国際社会で活躍できる人材を育成する。
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職員の資質能力の向上に取り組むとともに、教職員同士が教え合い、協力し合うことにより、さまざまな課題に「チーム」として取り組む組織力ある学校づくりを行う。 2. 教育活動や学校運営について組織的・継続的な改善を図るとともに、学校・家庭・地域との連携を強化し、学校力を高める。 3. 業務の精選、総勤務時間縮減に向けた取組や教職員の満足度向上に向けた取組を通して、教職員が情熱とやりがいを持って生徒に向き合い、健康で働くことのできる環境づくりを行う。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
主体的学習者の育成と確かな学力の向上	<p>◇質の高い授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、探究的な学びの推進等に組織的に取り組み、質の高い授業づくりを目指します。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケート(年2回)の実施 ・ICTを活用した授業についての情報発信及び共有の促進 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的」および「深い学び」に関するアンケート項目「学んだことを活用し、深く考える場があった」について、生徒の回答の③「ややあてはまる」および④「あてはまる」の割合の合計の値が90%以上、かつ④の値が40%以上 <p>【昨年度実績】</p> <p>前期 ③ 46.0% ④ 41.6% ③+④ 87.6%</p> <p>後期 ③ 52.4% ④ 37.8% ③+④ 90.2%</p> <p>◇主体的な学習習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期指導を充実させ、主体的に学ぶという意識付けをしつつ、徐々に手を離していくことで、生徒の自律を促します。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めの1・2週間程度を「ガイダンス週間」と位置づけ、全ての科目でガイダンスを実施。 ・1学年においては一人一台端末の活用のための土台を形成するための「Chrome ガイダンス」を実施 ・学習意欲の向上を図るため、「高い志」を持たせるとともに「学ぶ意義」を意識させることを、継続的に発信 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活についてのアンケート」項目「意欲的に学習に取り組んでいるか」について、生徒の回答の②「だいたいできている」および③「できている」の割合の合計の値が80%以上、かつ③の値が33%以上 <p>【昨年度実績】</p> <p>1学年(現2学年)② 52% ③ 25% ②+③ 77%</p> <p>2学年(現3学年)② 54% ③ 30% ②+③ 84%</p>	(年度末および適宜記載)	◎
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「高い知性と教養を持ったリーダー」の土台となる「自主・自律」の精神の涵養を目指し、生徒が必要な情報を自ら分析・判断し、実際の行動に移せるような資質を養うことを目指す <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が将来について考えられる機会の提供【生徒参加企画等】 ・日々の学習と社会の接点が意識できるような活動を提供することによる社会貢献の意識の向上【授業内活動等】 	(年度末および適宜記載)	※

	【成果指標】 ・第一進路希望実現率等		
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
人権教育	1 人権を重んじ、自由と責任を自覚した人間の基盤となる力をあらゆる教育活動の中で培います。 2 生徒の自主性を大切にしたい人権学習を展開します。 【活動指標】 ・各学年で行う人権アンケート	(年度末および適宜記載)	◎
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
生徒指導	1 基本的な生活習慣の確立を目指します。 2 社会生活におけるマナーの向上を目指します。 【活動指標】 ・交通安全・登校指導週間、完全下校巡視、校内巡視、情報モラル・命の教育講座の実施 ・生徒会活動、HR活動、部活動、課外活動を奨励します。 ・各種教育活動の実施 【成果指標】 ・部活動への加入率等(90%以上の継続を目指す) ・互いの人格を尊重し、他人を思いやる心を育成します。 【活動指標】 ・各種集会での講話等の実施	(年度末および適宜記載)	※
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
国際教育	◇SSH事業、マレーシア研修等を活用した国際交流活動の推進 ・国際的な視野の育成を図ります。 【活動指標】 ・台湾の高校生との交流回数と内容(オンライン含む) ・次年度SSH台湾研修の計画立案 ◇各種団体の主催する国際交流活動への参加を促進 ・県教育委員会主催の海外研修等への参加を推奨します。 【活動指標】 ・国際交流活動参加生徒の、のべ人数	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
文化活動の推進	◇読書生活指導の充実 ・本校図書館は、「自主・自律」の校訓のもと、高い知性と教養を持ったリーダーを育成するため、読書生活を支える場、文化的教養を育てる	(年度末および適宜記載)	※

	<p>場、自主学習の場、交流の場として、幅広い知識と豊かな情操を養う資料を収集整備して、活用の充実に努める。また、文化活動を通じて文化的教養を育成します。</p> <p>【活動指標、成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書環境の整備、利用の促進(貸出 8,000 冊、生徒貸出率 50%) ・分掌・学年・教科等との連携、およびSSH、LHR、授業等への支援 ・読書感想文コンクール、読書感想画コンクールへの応募、及び上位入賞 ・蔵書管理のシステム化、「学校図書館資料共有化ネットワーク事業」の推進 ・図書館を文化情報センターとして位置づけた、文化・学習にかかる情報収集と情報発信 ・図書館文化講演会、ビブリオバトル、ギャラリー展示、青空図書館、図書館Live、車座トーク、図書館図鑑講座、みんなの本棚、他生徒参加企画の実施 <p>◇芸術鑑賞の奨励</p> <p>1 PTA主催の芸術鑑賞補助事業等への参加を積極的に促します。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞事業等への参加人数 		
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
健康教育	<p>◇保健管理と保健教育、健康相談</p> <p>1 心身共に健康で安全な生活を自主的に実践できる能力および態度の育成に努めます。</p> <p>2 健康診断、健康相談の充実と事後指導の徹底に努めます。</p> <p>3 学年毎の健康重点目標に沿った健康教育の充実を図ります。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健講話(各学年1回) ・「保健だより」の年 10 回発行 <p>◇救急時の対応</p> <p>1 安全に対する意識を高める指導を行います。</p> <p>2 救急体制の充実を図ります。</p> <p>◇感染症予防への取組</p> <p>1 感染症の早期探知及び生徒健康状況の把握を行います。(欠席状況調べ、健康観察等)</p> <p>2 感染症を未然に防ぐ取組を進めます。 (手指消毒液等の環境整備、感染症に関する保健指導等)</p> <p>◇教育相談</p> <p>1 全ての教育活動をとおして、生徒の悩みや不安の解決に向けた支援や対応を行います。</p> <p>2 生徒を取り巻く環境を把握し、支援や対応を行います。</p> <p>3 保護者、担任、学年主任、保健室、部活動顧問等と情報を共有しながら支援や対応を行います。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーによる教育相談の実施(年 12 回以上) ・「教育相談だより」の年3回以上の発行 	(年度末および適宜記載)	

改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
防災教育	◇防災学習の充実 1 避難経路、避難方法を年度早期において確認します。 2 より実地的な場面を想定した避難訓練を実施します。 3 「防災ノート」を活用した防災学習を実施します。 【活動指標】 ・防災訓練、防災学習の実施(年各1～2回)	(年度末および適宜記載)	※
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
探究的活動の推進とSSH事業への取組	◇探究活動を核とし、全ての教育へつなげる科学教育システムの構築 1 探究心を醸成し、創造性、協働性、課題解決能力を育みます。 2 SS探究活動を中心に、主体的・対話的に課題を追求できる仕組みを構築します。 3 校内外の児童・生徒が相互に刺激を受けながら資質・能力を高め合う取組を実施します。 【活動指標】 ・「SS探究活動Ⅰ」において、「リベラルアーツ」、「夏季フィールドワーク」、「試行的な課題研究」の実施 ・「SS探究活動Ⅱ」において、1年間にわたる「課題研究」の実施、「SSH児童・生徒研究発表会」での研究成果の発表 ・「SS探究活動Ⅲ」において、2年次の研究成果の論文作成、学会やコンテストで発表 ・「SS先進科学」「SS生命科学」「SS特別講義」の実施 ・「みえ探究フォーラム」、「国際科学技術コンテスト強化講座」「SSH台湾研修」等の実施	(年度末および適宜記載)	◎
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
環境・美化教育	◇環境美化、公共性の向上に向けた取組 【活動指標・成果指標】 ・美化委員会による清掃用具、清掃状況のチェックとフィードバック ・美化委員によるゴミ分別のチェック(原則毎日) ・環境美化改善へ、生徒のアイデアを取り入れた取組の実施 ◇環境問題に対する意識の醸成 【活動指標】 ・「環境週間」を設け、その一日を「学校環境デー」として美化委員で美化活動を実施	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
授業力向上の取組と教育課程の研究・改善	<p>◇授業力向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業研究や授業公開、授業評価等とおして、授業力の向上を図ります。また、ICTを活用することによって教員の業務負担を軽減させ、取組に必要な時間を生み出します。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「授業力向上に向けた各教科の取組シート」の作成 全教科1回以上の授業公開の実施 教科内において、授業研究を実施・研究協議の充実・教員相互で、授業力を向上 保護者を対象とした授業公開の実施 生徒についてのデータベース構築及び一括管理 ICTの活用についてのサポート プログラムを利用した業務の自動化とその提案 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科における、授業アンケートの、授業改善のための資料としての活用、成果の検証 <p>◇「カリキュラム・マネジメント」の視点から、日々の教育活動について組織的に改善をおこない、また、探究的な学びの指導方法や評価方法についての研究を行います。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導委員会を中心とした様々な教員による、指導方法・評価方法の検討および実践の検証 観点別評価についてのデータ収集及び情報共有 	(年度末および適宜記載)	◎
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
・進路指導に関する情報共有 ・大学入試問題の分析や校内外模試を活用することによる教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路決定に必要な情報を学年団に随時提供し、データを効果的に活用した指導体制の構築 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学入試の変更等にかかる情報提供 新課程による2025年度入試についての情報提供 校内外の試験の結果を基にした学年での成績分析会の実施 各予備校等の分析会・大学説明会の情報発信 校内外模試の作問・分析を通して教員の資質向上 	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

項目	取組内容・指標	結果	備考
人権教育に関わる情報、方法の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人権教育に関わる研修、フィールドワーク、研究会等への参加を促進します。 【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・「人権だより」の発行、研修会の開催等 ・人権教育推進協議会の設置と情報の共有 ・人権教育推進協議会の開催、人権教育推進計画の策定 	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
生徒情報および指導方法の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの生徒理解に基づいたきめ細かな支援を行います。 【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・学年会等での生徒情報交換の実施 ・面談週間をはじめ、随時面談を実施 ・綿密な保護者との連携、情報共有 ・より良い関係性構築に向けた校内での情報共有 ・特別支援教育にかかる教員研修の実施 ・特別支援教育委員会の実施 	(年度末および適宜記載)	◎
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
働きやすい職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の精選や改善、校内組織の点検等を行い、総勤務時間縮減を図ります。 【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・設定した日の定時に退校できた教職員の割合 90%以上 ・予定通り休養日を実施できた部活動の割合 100% ・放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 85%以上 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数 0人 ・時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の延べ人数 0人 ・1人当たりの月平均時間外在校等時間 30時間以下 ・1人当たりの年間休暇取得日数 15日以上 	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
広聴・広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校関係者評価委員会による学校評価を実施します。 【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価委員会の実施(年2回) <ul style="list-style-type: none"> ◇ホームページ(HP)の活用、自治会との連携 ・積極的にHPを通じた情報発信を行います。また、「津高校だより」等を通じて、地域の方々等に本校の現状や取組についてお知らせします。 【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・HPを改善するとともに、連絡や行事等の活動・成果を掲載するため随 	(年度末および適宜記載)	

	<p>時更新を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「津高校だより」の発行(年間6回程度) ・報道機関への情報提供(年間5回程度) <p>◇津高入門講座(8月)、学校見学会(8・10月)の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在校生が実際に活動している様子を中学生に公開し、本校の教育活動を理解してもらいます。 ・10月にも「ミニ見学会」を企画し、本校の教育活動を中学生に紹介する機会を増やします。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津高入門講座・学校見学会への参加促進と円滑な運営、参加人数およびアンケートの集約 <p>◇学校PR用動画、パンフレットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となって学校PR用の動画およびパンフレットを作成し、広報活動に活用します。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校(生徒・保護者)への必要数配付 		
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	(年度末に記載)
----------------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	(年度末に記載)
<p>学校運営についての改善策</p>	(年度末に記載)